

南砺市高瀬西公民館

◆事業の目的

田植え、稲刈り等を通じて昔の人々の農作業の苦労を体験したり、植物観察を通して自然への関心を深めたり、さらには、郷土の遺跡などを訪ねたり、伝統行事に参加したりすることで身近な地域の人々との絆を深め、ふるさとへの興味・関心を高める。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月22日(日)	親子で田植えにチャレンジ	地区内 安清 3049 の田	29 名
6月25日(土)	植物の観察と押し花(葉)づくり	高瀬西公民館	13 名
8月27日(土)	ふるさとの宝みつけよう	高瀬西地区内	12 名
9月18日(日)	親子での稲刈りをしよう	地区内 安清 3049 の田	32 名
10月22日(土)	ふるさとのよさを写真に残そう	高瀬西地区内	12 名
1月14日(土)	左義長に参加しよう	高瀬西公民館周辺	38 名

◆事業の様子

☆ 田植えと稲刈り

地域の高齢者に教えてもらい、田植えや稲刈りを体験した。泥まみれになったり汗をかいたりして、互いになごやかな会話を交わし、ふれあいを深めながら昔の農家の人々の苦労を味わった。



田植え体験と稲刈り

☆ 植物観察と植物のラミネートづくり

身近な地域に自生する植物の名前の由来や特性を学び、それらの植物の押し花(葉)を作った。後日これを使ってラミネートを作成した。できあがった作品を手にし、学んだことを思い出しながら、しおりとして活用することに喜びを感じていた。



植物観察と押し花(葉)

☆ ふるさと再発見とふるさとの写真撮影及びその展示

地域内の遺跡(御旅所跡、武部氏館跡など)、あずまだちと屋敷林、神明宮の大杉などを徒歩で訪ね、ふるさとのよさに気づき、愛着を深めた。日ごろ見慣れている屋敷林の由来に驚いている児童もいた。後日のふるさとの写真撮影では、これらのふるさとのよさを、良い写真の撮り方を学びながらカメラに納めていた。

文化祭での写真展示では、それぞれ気に入った写真を工夫しながら配置し、展示した。



ふるさと再発見と写真撮影

☆ 左義長に参加

左義長のワラや豆がらを保護者と一緒に集め、左義長の建て方を高齢者の方から学びながら共に作業をしていた。夜は点火とともに、「書初めをしよう」(ワイワイ学園)で書いた書初めを始め、持参した書初めを字が上手になるようにと願いながら燃やした。



◆事業の成果と課題

体験活動を通じてふるさとのよさや昔の人々の農作業の様子などを知ることができ、ふるさとへの愛着を深めることができた。また、高齢者の方をはじめ、地域の人々と共に活動したことで人との絆を深めることができ、教えていただいたことへの感謝の気持ちを育てることができた。

少ない児童の中で、スポーツ少年団活動等と重複し参加できない児童がどうしても出てくる。より多くの児童の参加を得るための手立てと工夫が必要である。



左義長に参加